

山口情報芸術センター [YCAM]

Select CINE TECTONICS=6

「ジャン＝リュック・ゴダール監督特集」

2009年6月19日(金)～21日(日) 会場：スタジオC

料金：当日券／700円(各回入替制／先着100名)* 入場券は当日会場窓口にてご購入ください。
3回券／1600円(発売中)

シャンタル・ゴヤ。マリナ・ヴラディ。ミリエム・ルーセル。
3女優を巡る、ゴダールの挑発的なフィルムによる思考体験。

本年79歳をむかえるジャン・リュック＝ゴダール。様々な手法で意欲的に創作を続ける、ゴダールの数多くの旧作の中から3作品を上映します。

■上映スケジュール

6月19日(金)

- 13:30 「彼女について私が知っている二、三の事柄」
- 15:30 「男性・女性」
- 19:00 「ゴダールのマリア」
「マリアの本」／「こんにちは、マリア」

20日(土)

- 13:30 「男性・女性」
- 16:00 「ゴダールのマリア」
「マリアの本」／「こんにちは、マリア」
- 18:30 「彼女について私が知っている二、三の事柄」

21日(日)

- 13:30 「ゴダールのマリア」
「マリアの本」／「こんにちは、マリア」
- 16:00 「彼女について私が知っている二、三の事柄」
- 18:00 「男性・女性」



「彼女について私が知っている二、三の事柄」

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ 山口情報芸術センター [YCAM] 担当：松富 広報：廣田、辰村
TEL：083-901-2222 FAX：083-901-2216 E-mail：information@ycam.jp
〒753-0075 山口県山口市巾着町7-7 <http://www.ycam.jp>
取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

■上映作品解説

「彼女について私が知っている二、三の事柄」

2 ou 3 choses que je sais d'elle

1966年/90分/フランス

監督：ジャン＝リュック・ゴダール
 撮影：ラウル・クタル
 出演：マリナ・ヴラディ、アニー・デュブレー

パリ郊外に住む、夫の稼ぎがよくない主婦ジュリエットは、子ども達を売春宿にあずけ、行きつけのカフェで客をさがす日々をおくっている・・・。
 雑誌に掲載された主婦売春の実話をもとに、ゴダール自身が脚本を手がけ、ジュリエットの日常をドキュメンタリータッチにつづっていく。



「男性・女性」

Masculin Féminin

1966年/105分/フランス・スウェーデン/モノクロ

監督：ジャン＝リュック・ゴダール
 原作：ギ・ド・モーパッサン
 撮影：ウィリー・クラント
 出演：ジャン＝ピエール・レオー、シャンタル・ゴヤ、マルレーヌ・ジョベール

60年代当時のパリの若者たちの姿を背景に、政治運動に傾倒している青年ポールと歌手マドレーヌの恋愛を描く。

「大人は判ってくれない」のジャン＝ピエール・レオーと人気歌手シャンタル・ゴヤが主演、モーパッサンの『ポールの妻』『微笑』に想を得たゴダール最後のモノクロ映画。



「ゴダールのマリア」 ※ R-15：15歳未満は入場できません

「マリアの本」 Le Livre de Marie

1984年/28分/スイス・フランス

監督：アンヌ＝マリー・ミエヴィル
 撮影：ジャン＝ベルナル・ムヌー、カロリーヌ・シャンプティエ、
 ジャック・フィルマン、イヴァン・ニクラス
 出演：ブリュノ・クレメール、オロール・クレマン、レベッカ・ハンプトン

「こんにちわ、マリア」 Je vous salue, Marie

1984年/80分/フランス・スイス

監督：ジャン＝リュック・ゴダール
 撮影：ジャン＝ベルナル・ムヌー、ジャック・フィルマン
 出演：ミリエム・ルーセル、ティエリー・ロード、ジュリエット・ピノシュ



ゴダールのパートナー、アンヌ＝マリー・ミエヴィルが、両親の別離に直面した11歳の少女の日常をつづる短編「マリアの本」と、ジャン＝リュック・ゴダールが聖母マリアの処女懐胎とキリスト誕生を主題とし、現代におきかえた「こんにちは、マリア」の二部で構成された作品。